

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 たけのこクラブ 清水

保護者等数(児童数) 34 回収数 21 割合 61%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80%	10%		10%	児童が多いときは狭いとの事	児童が多い時は活動を分ける等、落ち着いた活動ができるよう対応致します。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	80%			20%	他のディに比べ多いと思う。専門性はわからない。	スタッフの質の向上のため研修等を強化していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	66%	10%	4%	20%	入口は段差もなく配慮がなされていた。	状況に応じて配慮の検討していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%				長時間話を聞いてくれ、計画書にも記載してくれていた。	年2回のモニタリング及び関係機関からの情報をもとに児童の特性に応じた計画書を作成していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	90%			10%	好きなイベントや活動があるとの事。	マンネリ化をしないよう今後も工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	71%	4%		25%	きいた事がない	コロナ過もあり、積極的な交流を行っていませんでした。今後必要であれば検討していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					契約時にしっかりとご説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	92%	4%		4%	連絡帳の細かく状況を記載してくれている。	連絡帳や送迎時以外でも気になる事がある場合は迅速に状況のご確認を致します。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	8%			話をきいてくれる。色々と答えてくれた。	明確な回答ではない場合もごさいますが出来る限りの助言や支援を今後も行います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	66%		14%	20%	聞いたことがない。ある場合は参加したい。	感染予防も軽減され、何か支援ができないか？検討致します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%			20%	苦情を入れた事がないのでわからない。	早めの対応を致します。改善内容などを明確にご説明して対応致します。
	12 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%			8%	何かあったらすぐに連絡をくれる。ラインがあればよい。	今後も報連相の徹底を行います。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	76%	4%		20%		HPの更新など何か変更がありましたら周知していきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	100%					十分注意を行います。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	71%	4%		25%	見た事がない。	保護者様に周知・ご説明ができるよう取り組みます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%	4%		16%	避難訓練はいやだと子供がいていました。	児童が興味を持って行えるように工夫致します。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	96%	4%			友達がいる日は楽しみ	いない日も楽しめるよう活動を工夫します。
	18 事業所の支援に満足しているか	100%					何かご意見ございましたらお教えください。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 たけのこクラブ 清水

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		高学年の主体の施設で児童の体が大きいので活動に合わせて机等のレイアウトを変更しています。	高学年児童を意識して、市の指定基準を満たしたスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	100%		個別対応できるように意識した配置をしています。	配置基準を上回るスタッフ人数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		100%		利用児童が必要な場合は検討を行いたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	25%	日々の振り返りと毎月のスタッフ会議を行っています。	新人スタッフや出勤日数の少ないスタッフに対しても周知していきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		アンケートだけではなく面談でも意見を伺うようにしています。	アンケートを行いつつ、送迎時など日々のやり取りの中で ご指摘を頂いた事があれば、改善に取り組みたいです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		HPでの公開と施設入口に掲示しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%	臨床心理士の講師を毎月招き、療育会を実施。評価やアドバイスを頂いています。	新人スタッフや出勤日数の少ないスタッフに対しても周知していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		毎月平均3回の会議を行い質の向上を務めるとともに研修も行っています。	今年度は特に虐待防止や身体拘束についての研修を強化していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		保護者と定期的に面談、スタッフからも意見を聞き作成をしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		たけのこクラブで標準化されたツールを使用しています。	今年度は改定もあり、見直しをして必要事項を追加していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		スタッフ会議だけではなく日々、打ち合わせを行いプログラムを検討しています。	様々なスタッフの意見を取り入れ、プログラムの振り返りも行っていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	25%	固定化しないように努めています。	プログラムがマンネリ化しないように常に色々な意見を取り入れ作成していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	62%	38%	その時節に応じた支援に取り組んでいます。	きめ細かな設定ではない時もあるのでメリハリをつけて課題を設定して支援を行っていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		どちらかに偏らないように作成しています。	児童の状況によっては個別活動が優先している場合もあるので個別に見直しを行います。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		平日・休日ともにお迎え前の30分で打ち合わせを行い支援の内容と各自の役割を確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	送迎等で遅れた場合は翌日に持ち越し事があります。	当日の様子や課題などを、共有できるように報連想を意識して打ち合わせを行い、休日のスタッフには後日、日誌や連絡帳で情報を共有していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		各児童の療育日誌を作成、記録して次の支援に繋げています。	
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		6か月ごとのモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。必要に応じて短期間での計画の見直しも実行しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	50%	50%	社員・常勤スタッフはガイドラインを確認しています。	周知できていないスタッフもいるので確認してもらい、施設の特色をだしていけるよう支援していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		児童発達支援管理責任者が必ず参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		学校との情報共有は行っています。	各学校より毎週の時間割り・月間スケジュールを頂き下校時間の把握を行っています。お迎えの時間が遅れそうな場合も迅速に各学校への連絡を行っていますので今後も継続していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		100%		現時点では対象児童がいませんが、受け入れる際は連携、連絡の体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		100%		現時点では対象児童がいませんが、受け入れる際は情報共有・相互理解に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%		情報共有を行っています。	要望や要請がありましたら保護者様からの承諾を頂き、今後も積極的に情報を提供させていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		100%		児童のケースによっては助言・研修を受けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		100%		機会があれば交流していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		100%		機会があれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		送迎時での報告だけではなく、連絡帳や状況に応じてお電話等で打ち合わせを行い、情報共有に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%		毎月、療育会を実施しています。	向上が必要な保護者様に対してこちらから声をかけ、療育会に参加して頂いているが、全体には行き届いていません。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		契約時に必ずご説明をしています。	本年度は、報酬改定もあるので再度ご説明を行う予定です。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		相談に適切に対応しています。	送迎時、お電話、面談時等に相談があればしっかりと対応させて頂いていますので、今後も対応していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%	どんたくイベントなど、保護者様同士の連携を深める活動を支援しています。	療育会やイベントを通じ保護者様同士の連携を支援していけるような取り組みを検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		苦情窓口の説明をご契約時にしています。苦情があった際は真摯に受け止め、迅速な改善に取り組んでいます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		毎月のスケジュールを各保護者様に配布しています。	HPをこまめに更新しているので、そこも見て頂けるよう周知していきます。
	35	個人情報に十分注意している	100%		十分注意しています。	入社時に誓約書にサインをして頂き、社員・スタッフ共に取り扱いに十分注意をしています。計画書等は鍵付きの書庫に保管しています。今後も継続していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		スムーズに情報伝達や意思の疎通が行えるよう分かりやすい方法を工夫して配慮を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%		今後、検討していきたい。地域の行事には参加する事もあります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%		職員には周知できています。	保護者様に周知できていないので改善に取り組みます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		年に4～5回の避難訓練を行っています。	避難計画に沿った内容で災害に対応できる訓練を今後も継続して行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		職員会議やスタッフ会議で行っています。	虐待防止委員会を設置して研修を継続して行います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%		拘束があり得る場合は計画書に明記し了解を得ます。	児童に危険が伴う場合は突発的な対応になる事も予測でき、そういった場面を想定して計画書に盛り込み、保護者様からの了解を得られるよう説明していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		該当児童がいた場合、対応致します。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		ファイルを作成して事例を全職員で共有。事故防止に努めています。	